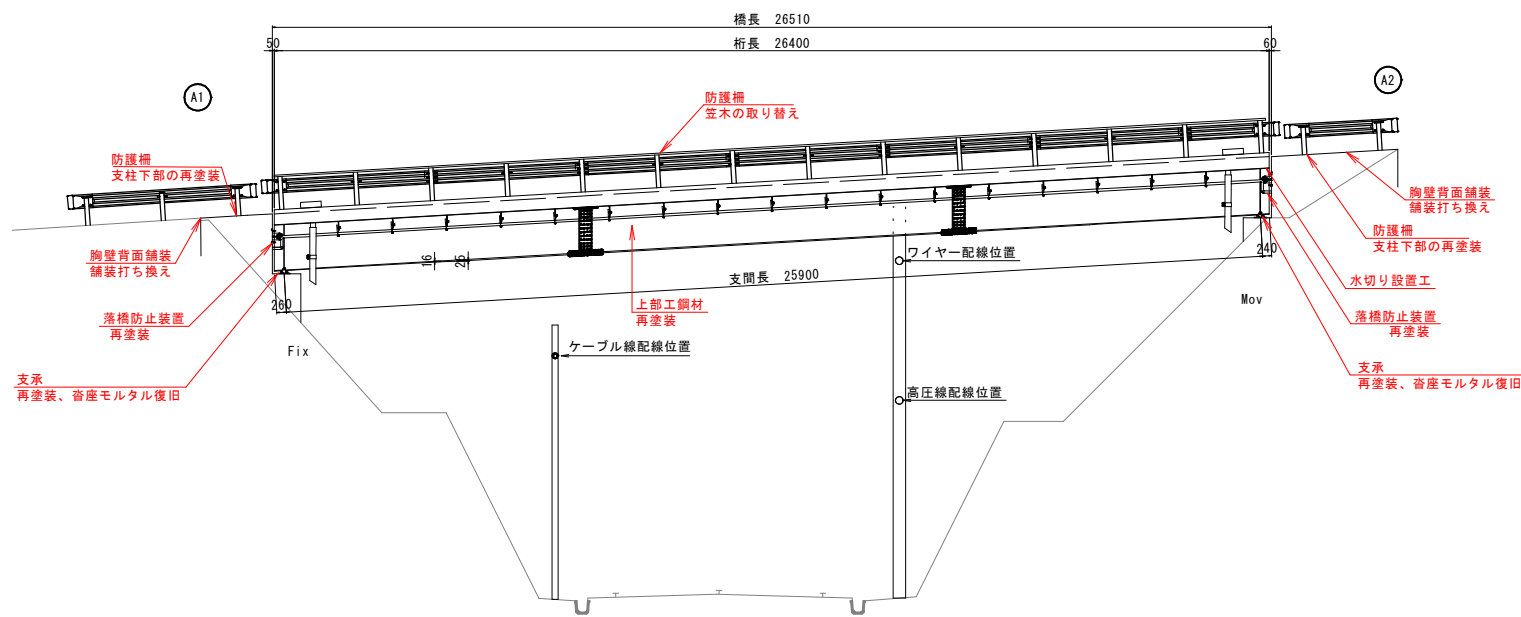
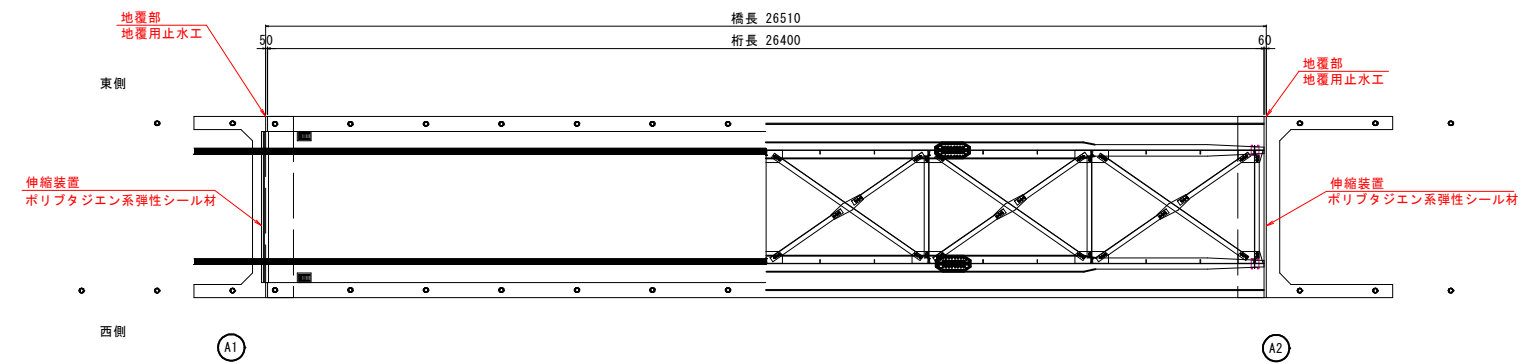


補修一般図

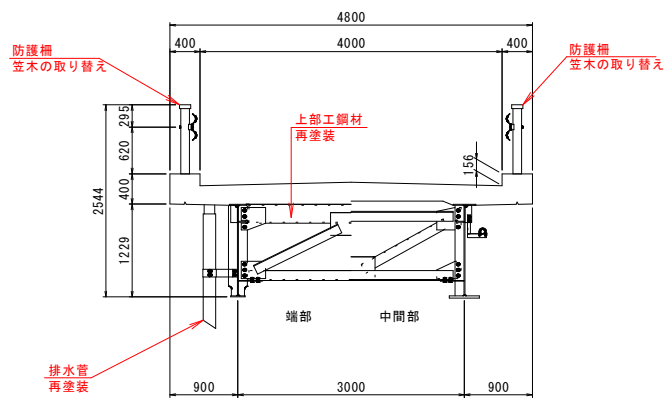
側面図 S=1/100



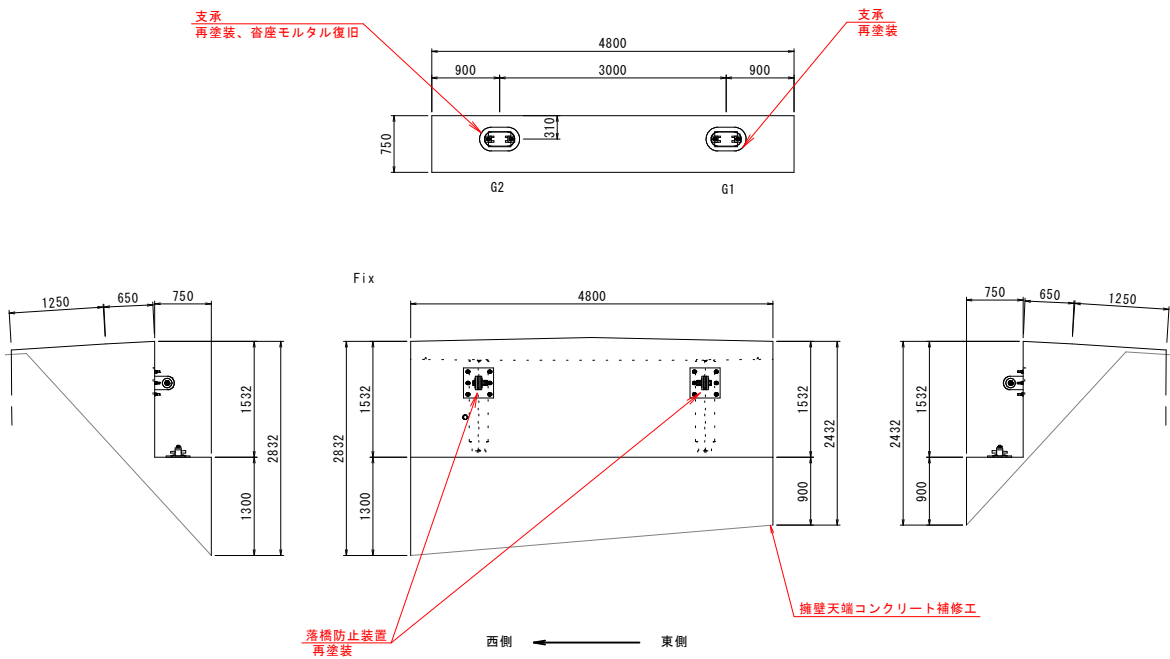
平面図 S=1/100



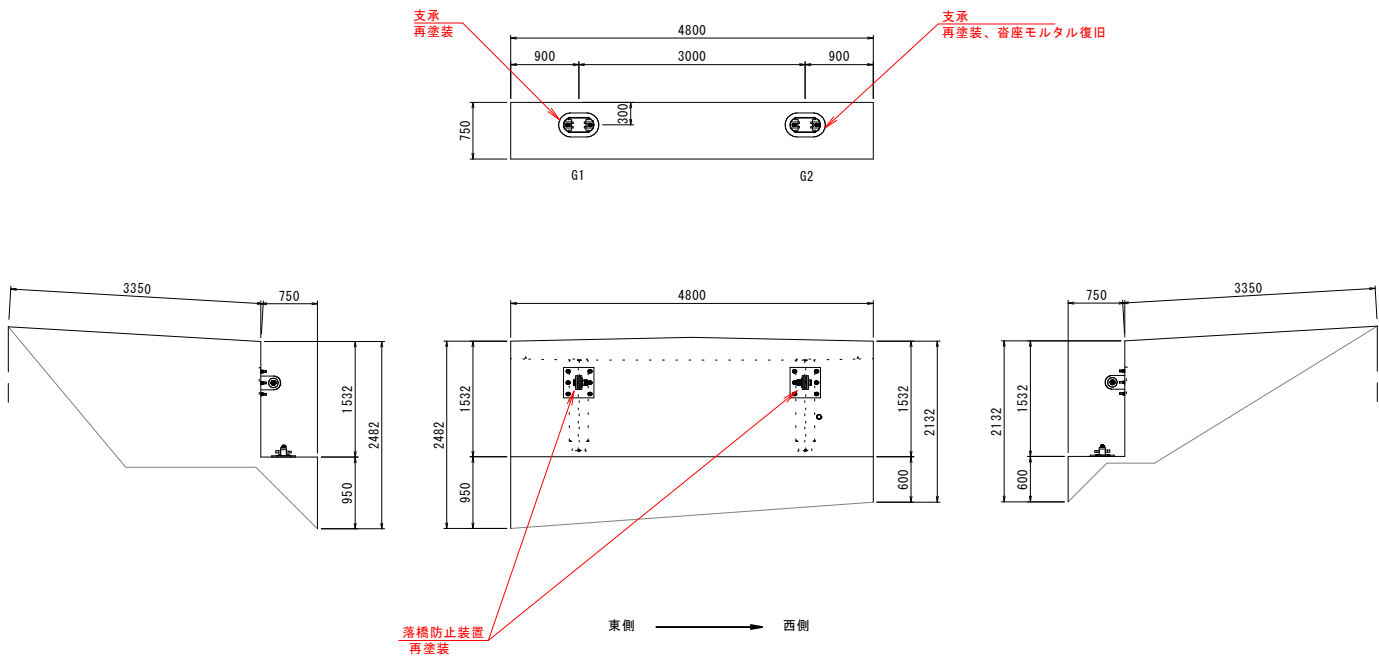
断面図 S=1/50



A1橋台 S=1/50

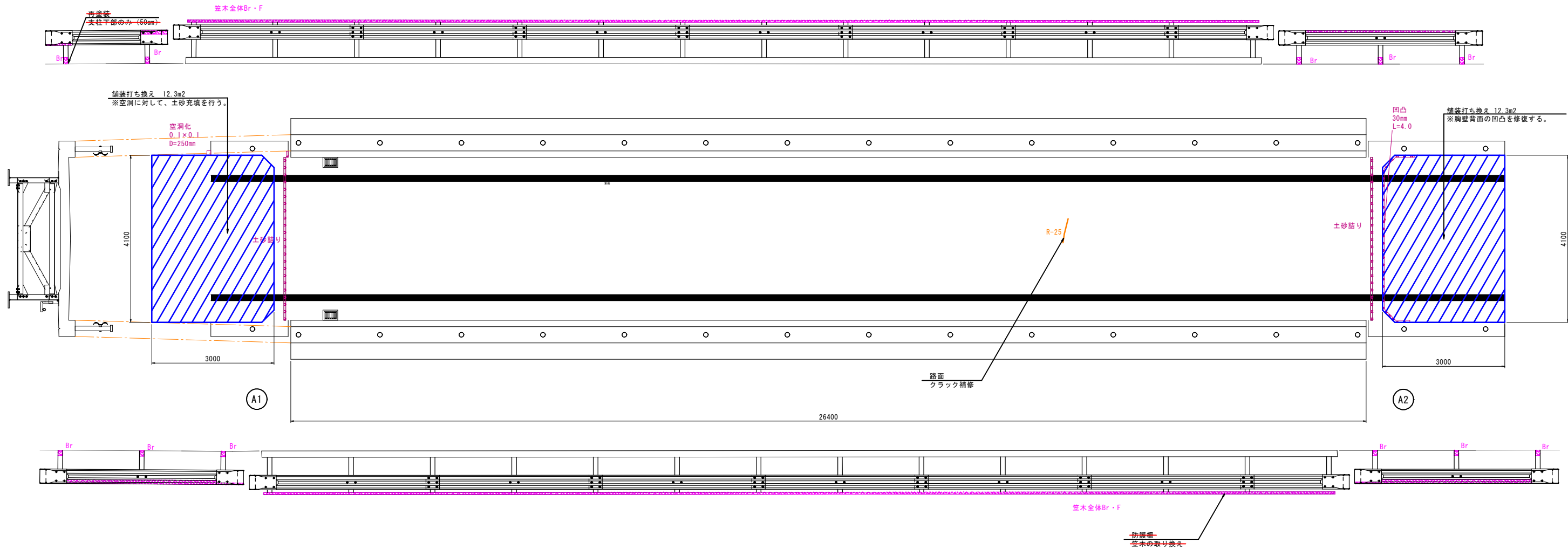


A2橋台 S=1/50



路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	補修一般図		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉 中 の 内 1		
令和 4 年度施行			
琴浦町役場			

上部工補修図（その1）



路面_ひびわれ補修数量表

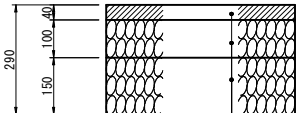
No.	幅 (mm)	長さ (m)
R-25	1.00	0.60
合計		0.60

※常温型補修工法 RC常温メンテ同等品を用いて、路面クラック補修を行う。

舗装打ち換え_数量表

	長辺 (m)	短辺 (m)	面積 (㎡)
起点側	4.1	3.0	12.3
終点側	4.1	3.0	12.3
合計			24.6

舗装標準図 S=1/10



設計C B R = 8 %

表層(再生密粒度As)
上層路盤(粒度調整砕石 M-30)
下層路盤(再生クラッシャーラン RC-40)

防護柵修復工数量表

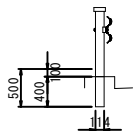
数量表		
苅木	2 m用 袖苅木	26枚 4枚
支柱塗り替え	支柱部(翼壁部のみ) 計	(0.114 × π × 0.5) × 6 = 1.07㎡ 1.07㎡

※支柱塗り替えは、翼壁部の支柱6本を対象とする。
また、50cm（支柱の土中長さ40cm＋下部から10cm）を防錆処理面積とする。
塗り替えは、~~基礎調整~~（4種ケレン）をした後、常温亜鉛めっきローバルで防錆処理（2回塗り）を行う。
~~塗替え後、伸縮装置で使用したシール材を支柱下部の隙間に詰め止水工を行う。~~

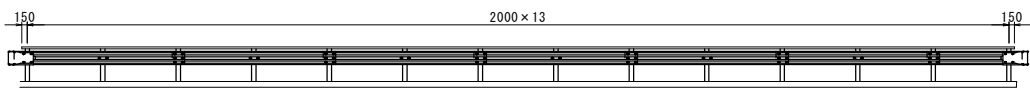
支柱塗り替え仕様

塗装工程	塗装名	使用量 (g/㎡)	塗装間隔
基礎調整	2種		4時間以内
上塗	常温亜鉛めっき ローバル	500	30分
上塗	常温亜鉛めっき ローバル	500	

断面図



側面図 S=1:100



損傷の凡例

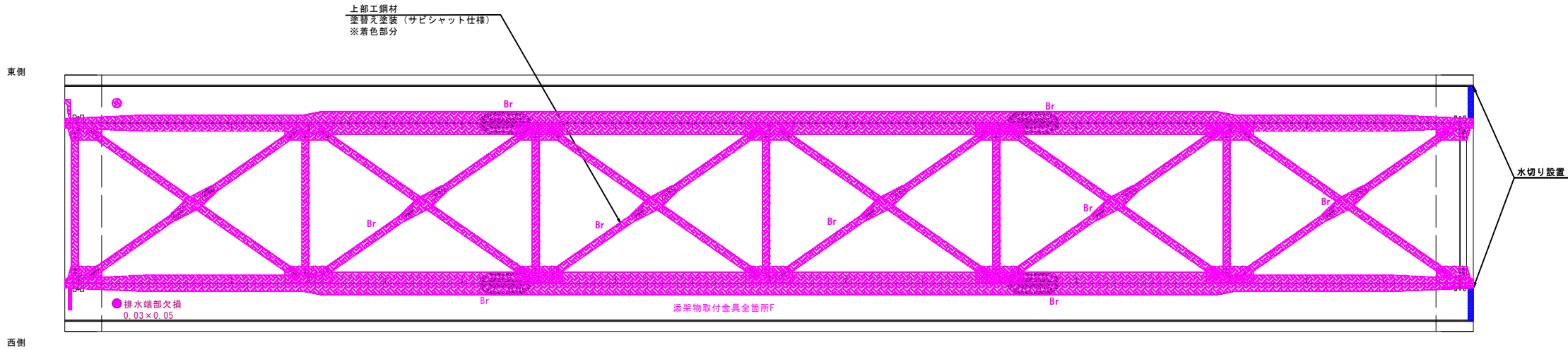
ひびわれ	w ≤ 0.3mm	
	0.3mm < w ≤ 0.5mm	
	0.5mm < w ≤ 1.0mm	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	H
	鉄筋露出	T
錆	発錆	B
	腐食	F
遊離石灰		CY
		Y
その他		

路線名	農道
岩船橋橋梁修繕工事	
図名	上部工補修図（その1）
位置	琴浦町大字八橋
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 7 葉中の内 2
令和 4 年度施行	
琴浦町役場	

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

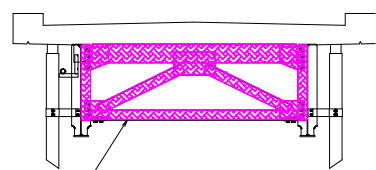
上部工補修図（その2）

桁下面 S=1:50



A1

横桁・対傾構詳細図 S=1:50



上部工鋼材
塗替え塗装（サビシャット仕様）
※着色部分

主桁等_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
主桁	192.50
対傾構	28.62
下横構	29.09
ガセットプレート	7.58
合計	257.79

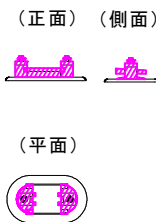
排水管詳細図 S=1/30



排水管_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
排水管 (1本)	0.81
合計 (2本)	1.62

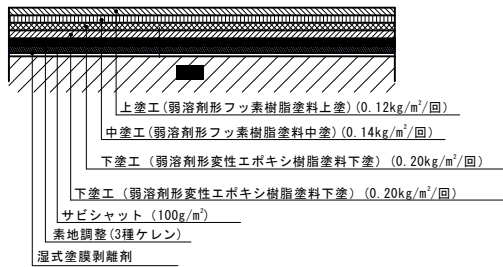
支承詳細図 S=1/25



支承_塗装塗り替え数量表

	面積 (㎡)
支承 (1基)	0.13
合計 (4基)	0.52

【RC-Ⅲ塗装系】
※上部工鋼材-図面着色部



塗装工程	塗装名	使用量 (g/㎡)	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	サビシャット	100	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

※鋼材塗装時の留意事項

- 塗装塗替え対象は全ての鋼部材（全面塗替え）とする。
- 素地調整の種類は3種ケレンを想定。
- 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼部面の不純物（油、ごみ等）を十分に除去すること。
- 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- 気温5℃以下、湿度85RH%以上では施工しないこと。
- 塗布量は標準使用量以上とすること。
- 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- 材料は可使時間内に塗布を行い、可使時間を過ぎたものについて使用しないこと。

損傷の凡例

ひびわれ	w ≤ 0.3mm	
	0.3mm < w ≤ 0.5mm	
	0.5mm < w ≤ 1.0mm	
	1.0mm < w	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	H
	鉄筋露出	T
うき		U
漏水・滲水		R
錆	発錆	B
	腐食	F
遊離石灰		CY
		Y
その他		

※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

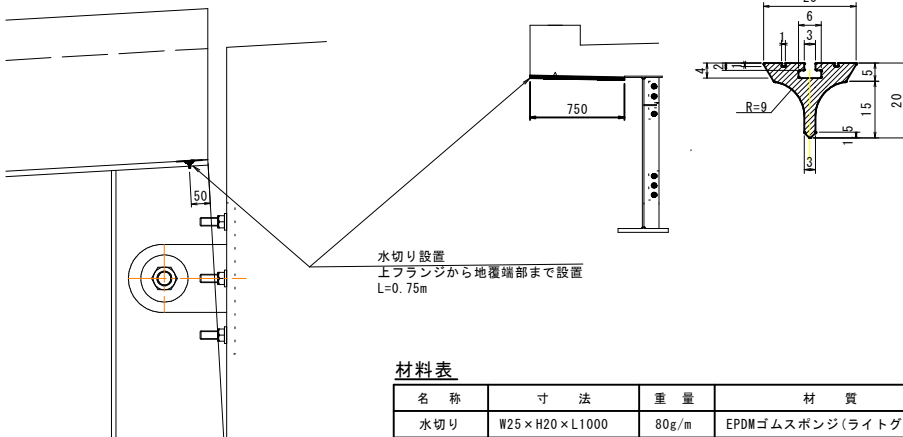
水切り詳細図

※ウォーターカッター同等品

S=1:10

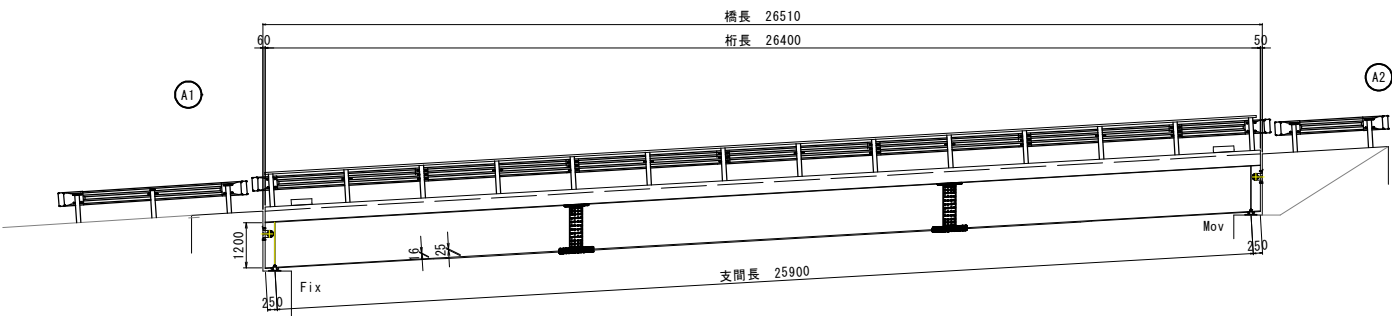
S=1:30

水切り材断面図 S=1:1

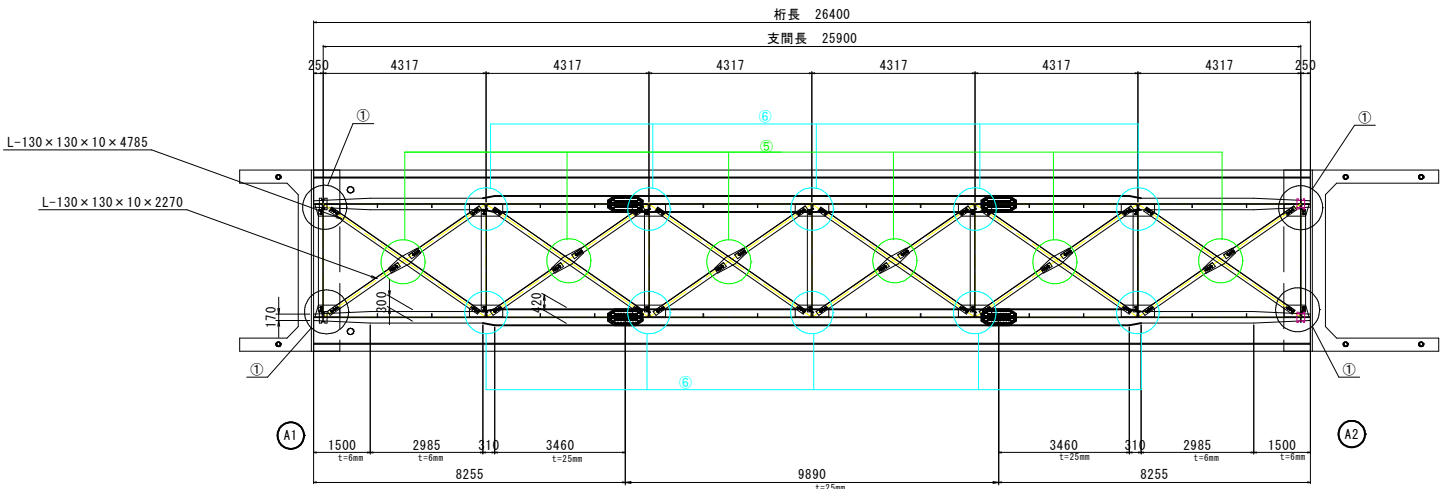


上部工補修図（その3）
〈塗替え塗装詳細図〉

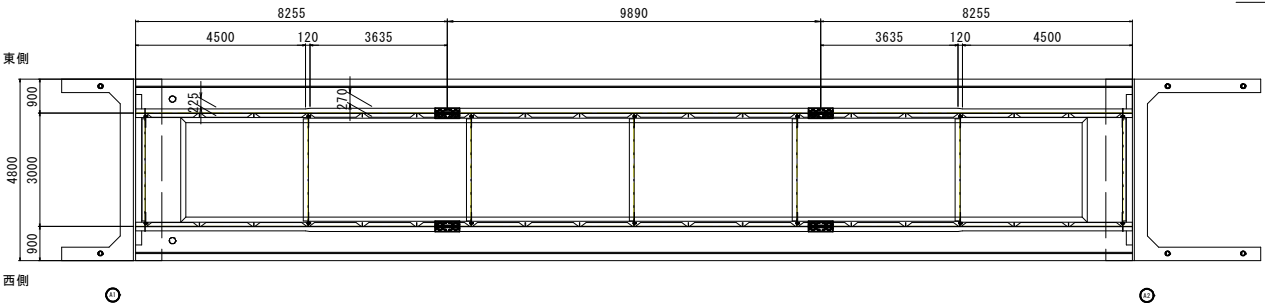
側面図 S=1/100



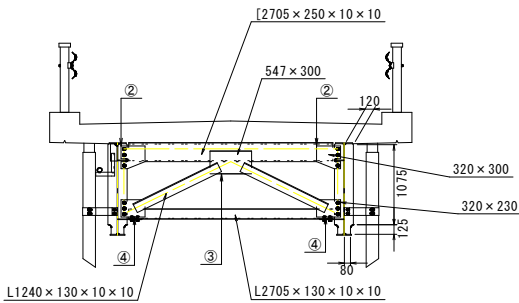
下横構・主桁下FL S=1/100



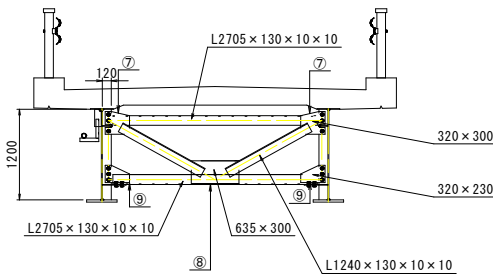
対傾構・主桁上FL S=1/100



端部対傾構 S=1/50

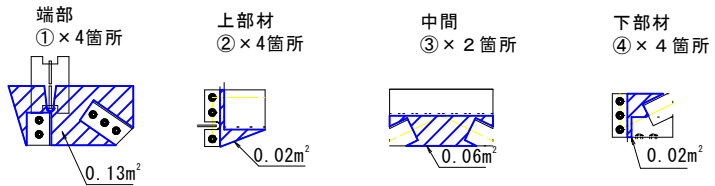


中間対傾構 S=1/50

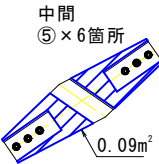


ガセットプレート詳細図 S=1/20

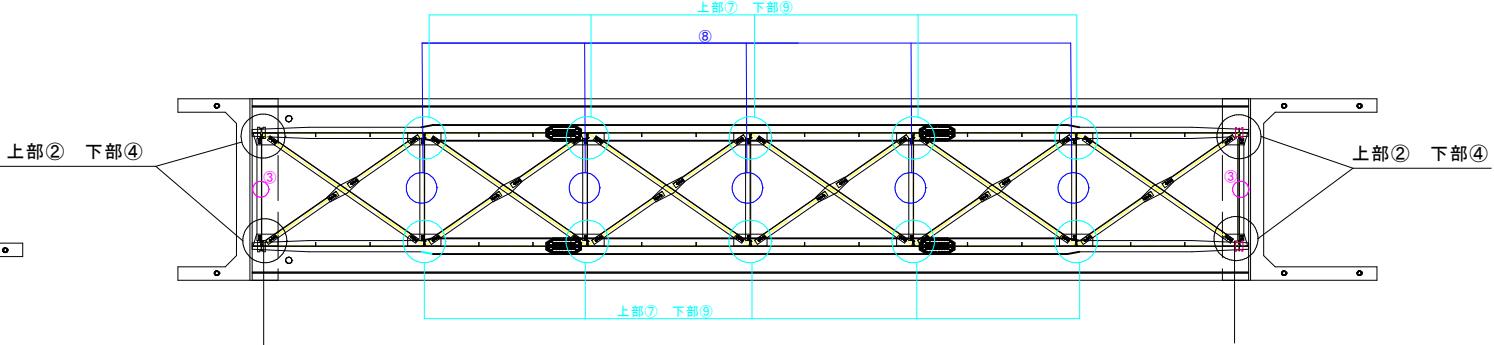
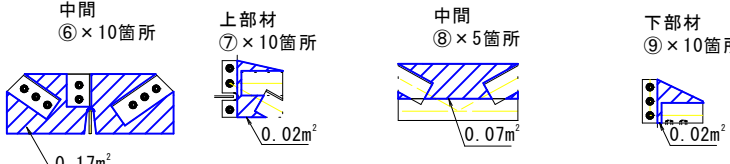
〈端部対傾構〉



〈下横構〉



〈中間対傾構〉



路線名		農 道	
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名		上部工補修図（その3） （塗替え塗装詳細図）	
位 置		琴浦町大字八橋	
縮 尺		図示	単 位 mm
図 号		全 7 葉 中 の 内 4	
令和 4 年度施行			
琴浦町役場			

下部工補修図

A1橋台 S=1:50

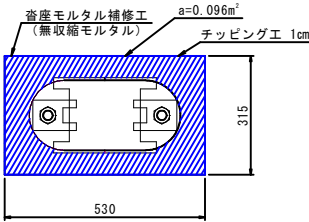
支承部 沓座モルタル復旧工数量表 (2箇所当たり)			
沓座モルタル	高さ (m)	(㎡)	体積 (m³)
A1橋台 G2側	0.04	0.096	0.004
A2橋台 G2側	0.04	0.096	0.004
合計			0.008

チップング工、沓座型枠 数量表 (2箇所当たり)

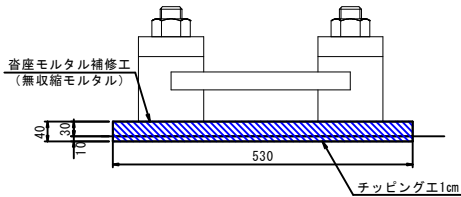
	単位	数量
チップング工	㎡	0.192
沓座型枠	㎡	0.101

沓座モルタル詳細図

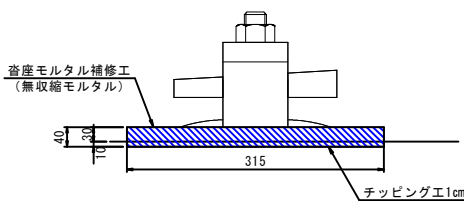
(平面図)



(正面図)



(側面図)



A1橋台前面ブロック コンクリート打換工
コンクリート・土砂充填 数量表

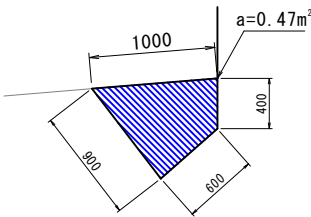
	面積 (㎡)	奥行幅 (m)	体積 (m³)
コンクリート量	0.7	0.2	0.14
充填土砂量	1.0	0.3	0.3

コンクリート打設型枠 数量表

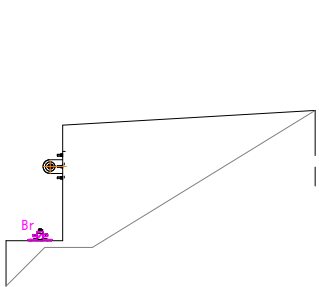
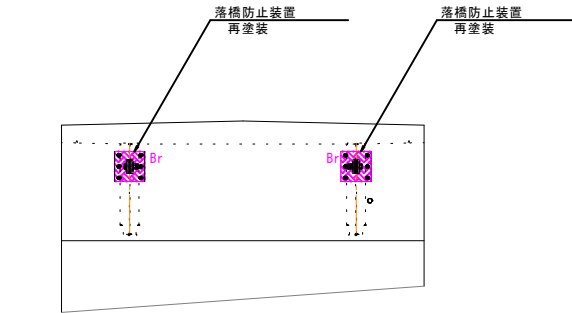
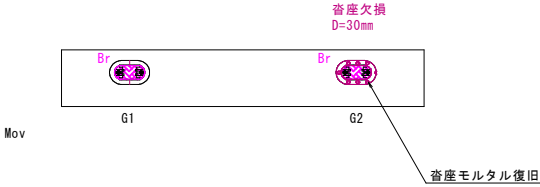
	単位	数量
コンクリート打設型枠	㎡	0.47

コンクリート打設型枠詳細図

(正面図)



A2橋台 S=1:50



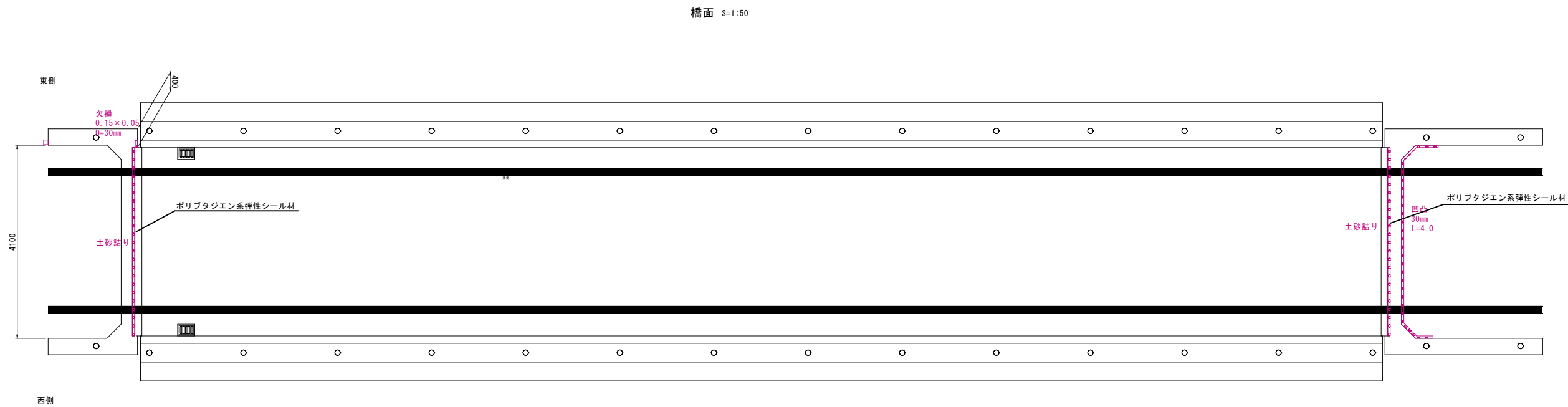
損傷の凡例

ひびわれ	w ≤ 0.3mm	
	0.3mm < w ≤ 0.5mm	
	0.5mm < w ≤ 1.0mm	
	1.0mm < w	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	
	鉄筋露出	
うき		
漏水・滲水		
錆	発錆	
	腐食	
遊離石灰		
その他		

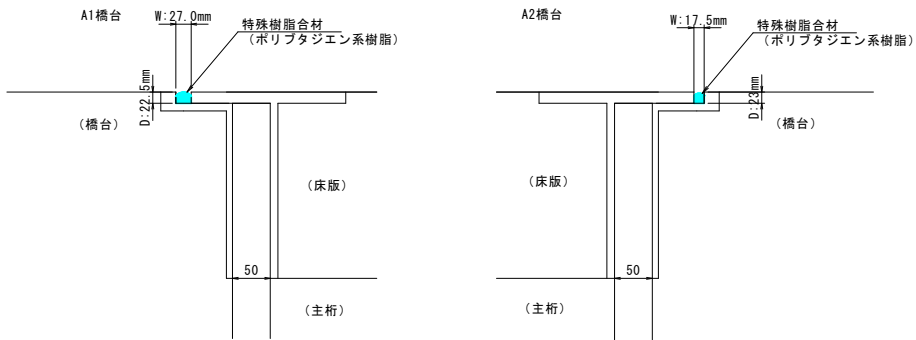
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	下部工補修図		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉 中 の 内 5		
令和 4 年度施行			
琴浦町役場			

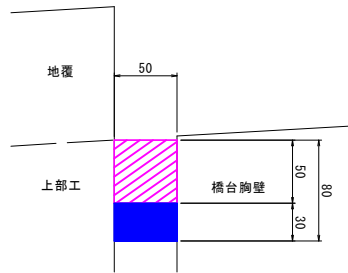
伸縮装置止水工詳細図



伸縮装置止水工詳細図 S=1:5



地覆用止水工詳細図 S=1:3



伸縮装置数量表				
名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸縮装置工	ポリブタジエン系弾性シール材	m	8.000	L=4.000+4.000=8.000
本体材料	特殊樹脂 (ポリブタジエン系)	L	4.4	L=4.0×(0.027×0.0225)+ 4.0×(0.0175×0.023)=0.004 0.004×1.1 (比重) ×1000=4.4
	プライマー	kg	0.056	0.007kg/m ² × 8=0.056kg

地覆用止水工数量表				
品 名	仕 様	単位	数量	備考
地覆用シール材	シリコーン系	㎡	4.0	0.05×0.05×0.40×4×1000=4.0
バックアップ材	ウレタンフォーム	㎡	2.4	0.05×0.03×0.40×4×1000=2.4

※プライマーは地覆用シール材に含まれる。

損傷の凡例

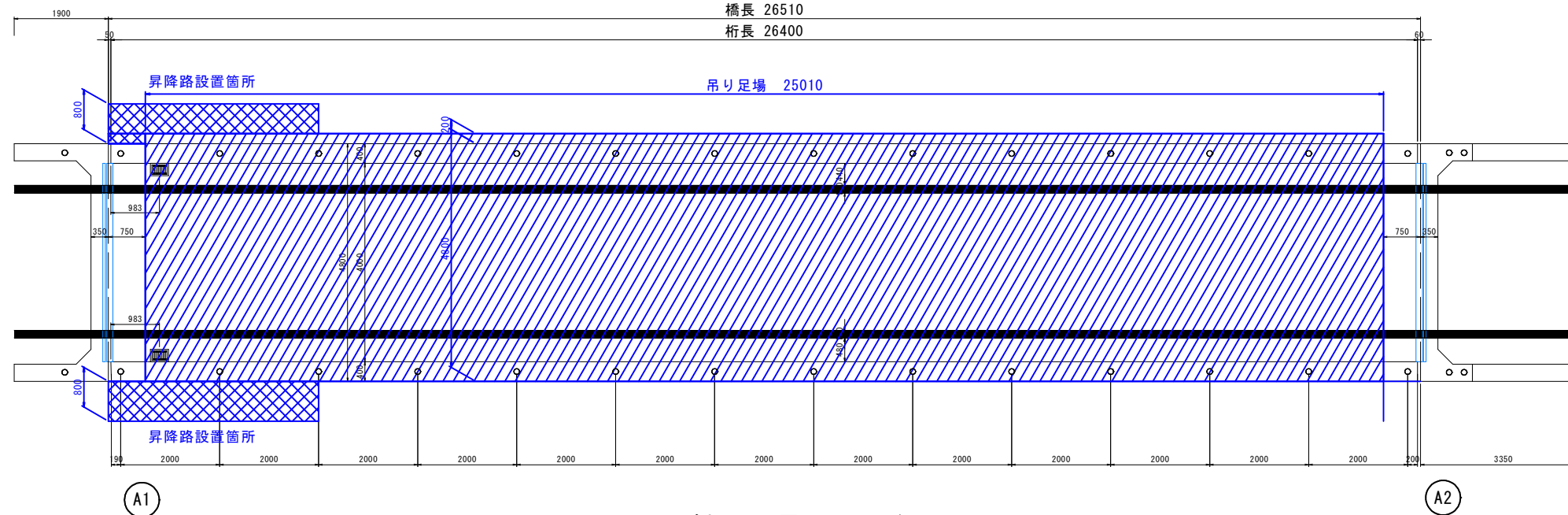
ひびわれ	w ≤ 0.3mm	
	0.3mm < w ≤ 0.5mm	
	0.5mm < w ≤ 1.0mm	
	1.0mm < w	
剥離・鉄筋露出	剥離・ジャンカ	
	鉄 筋 露 出	
う き	う き	
	漏 水 ・ 滞 水	
錆	発 錆	
	腐 食	
遊 離 石 灰	遊 離 石 灰	
	遊 離 石 灰	
そ の 他	そ の 他	

路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	伸縮装置止水工詳細図		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉中の内 6		
令和 4	年度施行		
琴浦町役場			

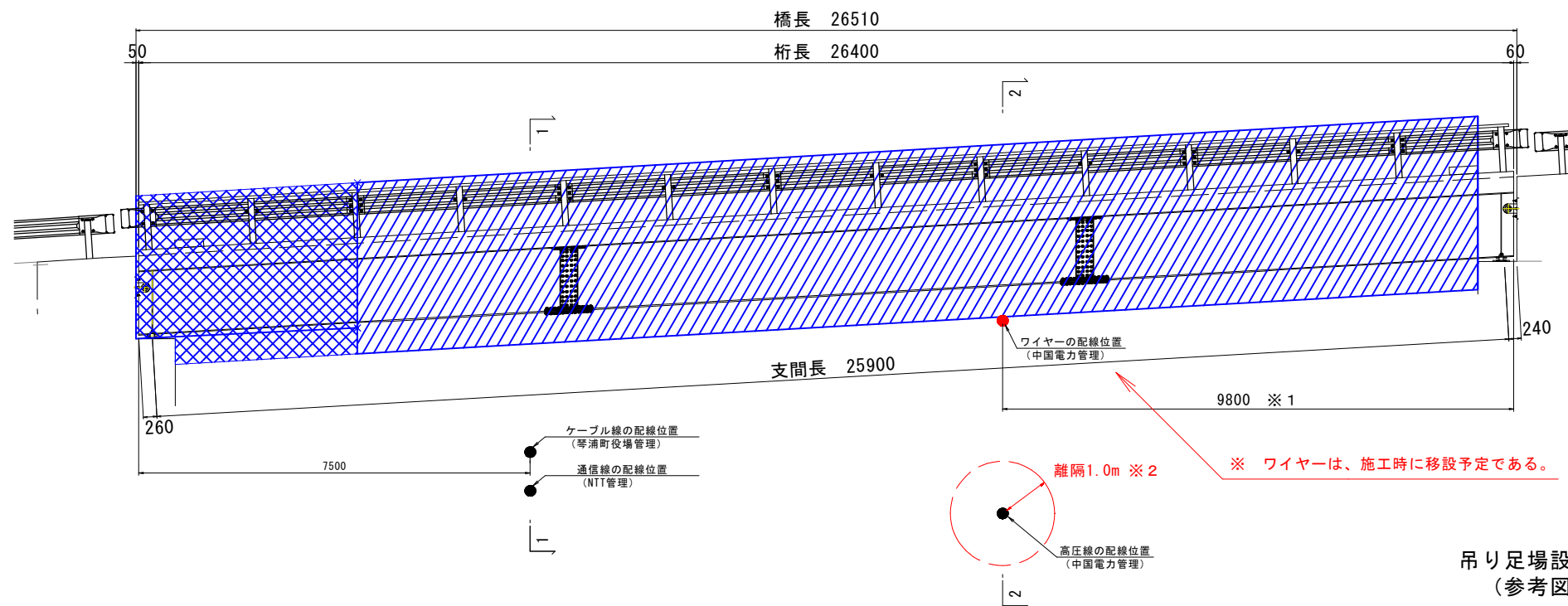
※ 本図面は、現地での簡易な計測に基づき、作成したものである。
※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

仮設図

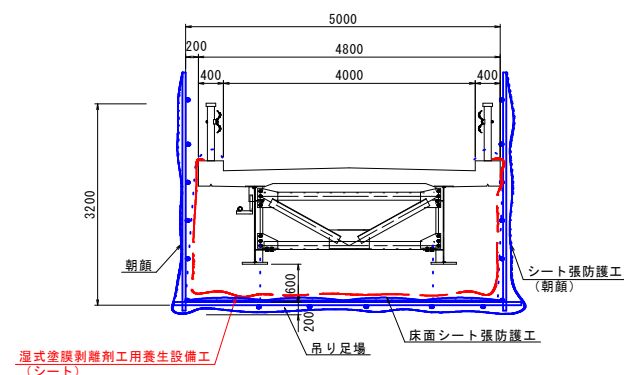
平面图 S=1/60



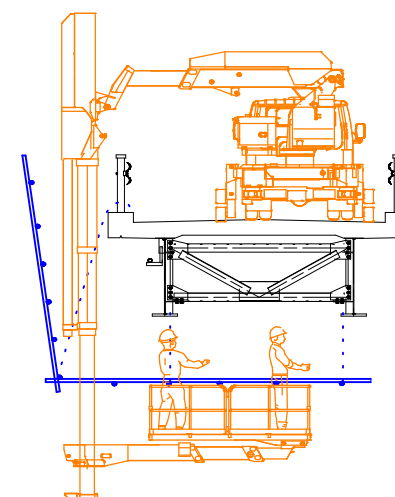
側 面 図 S=1/60



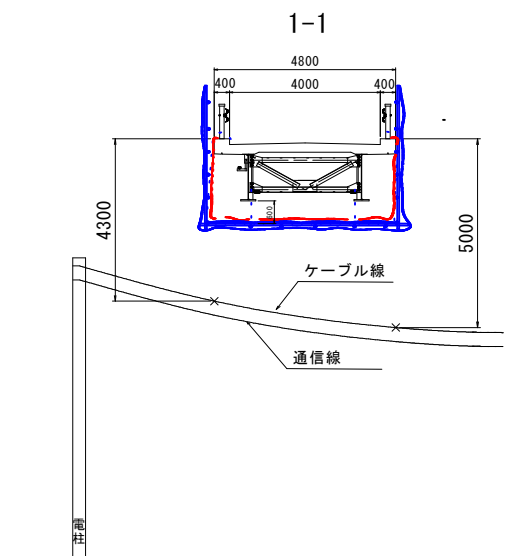
足場図 S=1:60



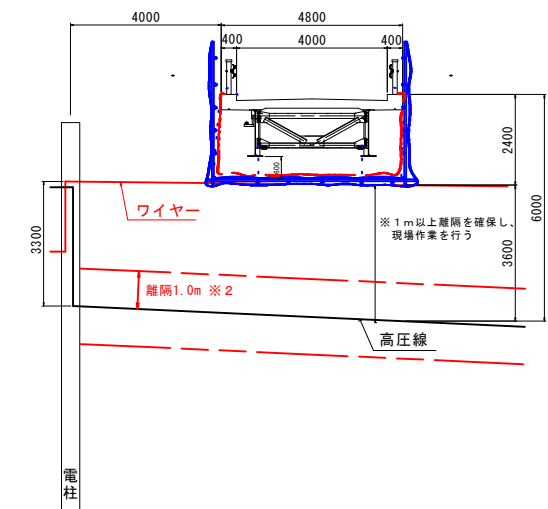
吊り足場設置時
(参考図)



断面図 S=1:100



2-2



※1 地覆端部（A2側）から、A1方向へ9.8m地点に電柱ワイヤーが通っており、吊り足場設置及び現場作業を行う際に、接触しないように留意する。

※2 電線との離隔1.0m 〈管理者確認〉

路線名	農 道		
岩船橋橋梁修繕工事			
図 名	仮設図		
位 置	琴浦町大字八橋		
縮 尺	図示	単 位	mm
図 号	全 7 葉中の内 7		
令和 4 年度施行			
琴浦町役場			